

# 暖 だより



中学校で福祉・介護の  
学習を推進中!

## みんなが笑顔で暮らせる 社会をめざして

平成29年に中学校学習指導要領が改訂され、地域の福祉や介護などについて、「技術・家庭科」で実践的に学ぶことが盛り込まれました。そこで島根県社協では、新たに求められる福祉教育を推進するため、高齢者介護のプロフェッショナルを講師として中学校へ派遣し、実践的に「福祉の心」を学んでもらう「介護の基礎的講座」普及モデル事業を実施しています。

将来の福祉人材確保も視野に入れた「人づくり」にもつながる取り組みをご紹介します。

少子高齢化問題を抱える島根県。2025年には、高齢者の生活を支えるために約1万8000人の介護人材が必要になると試算されており、今後新たに2400人の介護人材が必要になると考えられています。

しかし、本県の介護分野における就業者は年々増加しているものの、若者世代の介護分野への就職率の低下や離職などにより、福祉施設では必要な人員を充足することが困難な状態が続いています。

一方で、先の学習指導要領の改訂により、令和3年度から中学校の「技術・家庭科」において、高齢者など地域の人々と協働することの必要性や介護など高齢者との関わりを体験的な活動を通して学ぶことが

この講座は、介護現場で働くプロフェッショナルから、人の尊厳や高齢者の自立した生活を支えることの大切さ、介護の仕事の魅力について学び、実際に移動介助などを体験するものです。

本会では、こうした学習を通して福祉介護に魅力を感じてもらい、福祉・介護の職場をめざす若者がさらに増えていくことを期待し、県内の全ての中学校で「介護の基礎的講座」の実践を広げていくことをめざしています。

## 中学校で“福祉の心”を学ぶ!

### 講義Ⅰ 介護のプロが語る「福祉の仕事の魅力とは

松江市内の福祉施設で働くベテランの職員が中学校に出向き、介護の仕事の大切さと魅力を伝える講義を行いました。はじめに、福祉クイズで楽しく福祉に触れた後、介護とは「介護が必要な人のそばで、その人をまもり、安心してよりよい生活ができるように、その人に関心を持ち、気遣いや配慮をする仕事である」との説明を受けました。中には祖父母が近くに住んでいたりと、一緒に暮らしていることから、介護を身近に感じていた生徒もいました。

また、福祉の仕事は「人の役に立てる」「いつでもチャレンジできる」「ありがとうと感謝される仕事」であるという現場の職員の声も紹介され、生徒たちは介護が「みんなが幸せになる仕事」であると感じています。講義を行った職員は「早いうちから福祉や、福祉の仕事に興味・関心をもってもらいたいです。生徒さんたちは真剣に話を聞いてくれて意識が高いと感じました」と話していました。



講師が「福祉クイズ」を出題!

福祉は生活に密着した仕事なのだを再認識する生徒たち。

車椅子に座る人、押して介助する人を交互に体験し、押すスピードや段差での扱い方、乗り降りの仕方などを学びました。車椅子をいきなり押すと乗っている人をびっくりさせてしまうこと、小さな段差をこえるのも大変だということなどを体験。生徒たちは、慣れない手つきで車椅子を押しつつも、相手を思いやり声掛けをする姿が見られました。

また実際に重りが入った服や視野の狭い眼鏡をつけて「高齢者の動作」を疑似体験しました。足が重くて歩きづらく、目も見えにくいため、モノにぶつかってしまうことも。生徒たちは高齢者の特性を知り、介護をする人、される人の立場を感じてみる貴重な体験をしました。



高齢者の体を疑似体験し、介助のありがたさも理解しました。

少しの段差も車椅子は大変!身をもって体験しました。

### 講義Ⅱの感想を聞きました!!

車椅子に乗ったとき、後ろ向きで下がったときが怖かったです。介助する方の大変さが分かりました。

松江第一中学校  
おおくさ ゆづき  
大草 優月さん

車椅子に乗った人、しっかり声をかけ安全に補助することが大事だと思います。福祉は人を助けることに魅力を感じました。

松江第一中学校  
てらもと なおやす  
寺本 直恭さん

### 講義Ⅰの感想を聞きました!!

職場体験で老人ホームへ行ったとき、今回の講義の話であったように「ありがとう」と言われました。福祉はやりがいのある仕事だとますます感じました。

鹿島中学校  
やまもと こうき  
山本 航輝さん

福祉は、体と心のケアをする仕事だと改めて分かりました。自分は将来、人の役に立つ仕事に就きたいと思いました。

鹿島中学校  
はるか  
伊藤 悠さん

#### 保育士資格をお持ちのみならず

保育士の就職や復職をサポートします

### しまね保育人材バンク

保育士再就職支援  
コーディネーターが支援します

対象資格  
保育士

登録すると、こんなことができます!!

- 就職や復職をサポートする情報をお届けします
- オンラインで福祉事業所・保育所等の求人情報を閲覧できます
- オンラインで求職票の登録や紹介状の発行依頼ができます
- 再就職に向けた「セミナー」「職場見学・体験事業」などのサポートも充実しています

申し込み・お問い合わせ  
島根県福祉人材センター  
tel 0852-32-5957

「福祉のお仕事」ホームページから届出登録できます  
https://www.fukushi-work.jp

#### 介護の資格をお持ちのみならず

福祉のお仕事で活躍したい方をサポートします

### 介護の資格届出制度

介護の再就職支援  
コーディネーターが支援します

対象資格  
介護福祉士・実務者研修・初任者研修、旧ホームヘルパー1級・2級、旧介護職員基礎研修、介護の入門的研修修了者

登録すると必ずもらえる  
マスクingtテーププレゼント!!

人をだて  
人とも  
人ぐらす  
わが島根づくり

島根県社会福祉協議会(県社協)は県全体をひとつの「まち」とらえ、ここから一人ひとりを大切に、福祉の人材育成や子育て支援、地域住民や団体同士のネットワークづくり、そして人々が支え合いながら安心して暮らせる地域づくりを推進するために、さまざまな活動を行っています。その活動のいくつかをここで紹介しましょう。

### ふくしするひとめざすひと

今回は、「エルダー」制度導入研修を受講したきっかけは、今西さんが「エルダー」制度導入研修を今年度受講していただいたという特別養護老人ホームいなさ園でお話を伺いました。エルダー制度とは、新人職員が職場に早くなじめるよう、先輩職員が精進をサポートする制度です。

社会福祉法人 きづき会 特別養護老人ホームいなさ園  
いまにし 龍二さん 先輩エルダー職員(写真左)  
いしかわ 石川 智也さん 新人職員(写真右)

「介福福祉士になたきかけは?」  
〈今西さん〉家族が介護の仕事に就いていることからこの職を選みました。14年目になります。  
〈石川さん〉祖父母が大好きで介護の道に進みました。今西さんと同じトリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校で介護を学び、いなさ園に就職しました。

今西さんが「エルダー」制度導入研修を受講したきっかけは、現在、職場の新人育成で「エルダー」の改訂に同僚と取り組んでいます。ちょうど島根県福祉人材センターが実施するこの研修会があり参加しました。研修では、新人職員が職場に早くなじめるよう、精神的なサポートをどのようにしていくかということについて学び、参加者同士で情報交換もしています。研修で学んだことは「マルバツくり」や日々の業務に役立っています。

石川さん、実際に介護の仕事をしてみてどうですか?  
4月に入ったばかりのときは、利用者さんとの関わりなど初めてのことが多く大変なこともありましたが、今は誰に話しても慣れました。仕事のことやちょっとした悩みなど、誰に話していいかわからないときに、エルダーが決まっていたと相談しやすいと感じています。

今西さんはエルダーとして  
石川さんの成長を見守ってどうですか?  
即戦力として活躍されていて頼もしく思っています。勤務が一層になるところにはありますが、顔を合わせたときは自分ができることを思い返しながら声を掛けるようにしています。

石川さん、今後の目標はありますか?  
今西さんのような介護福祉士、頼れる先輩になりたいです。

#### 読者プレゼント

「高齢者の生産グループ」や「障がい福祉事業所」で作られたオリジナル商品をプレゼントします。

商品の購入希望の場合は、各団体の連絡先までお問い合わせください。

#### シマウリの粕漬け

みはた特産研究会  
出雲市佐田町大呂1073  
TEL.0853-84-0753

夏の伝統野菜シマウリを、無農薬、無肥料で栽培した酒米と、天然酵母で醸造した酒粕で漬けました。風味豊かな香りと、独特の歯ごたえをご賞味下さい。

#### トマトのミックスソース

障害者支援施設 太陽の里  
出雲市斐川町名島90  
TEL.0854-72-9125

原材料のトマトは近隣の福祉事業所と連携して栽培をしています。1瓶の中に1kg以上のトマトが濃縮してあるソースです。保存料不使用です。

#### お麩のラスク「うふふ」

応募方法/はがきに①希望商品名②郵便番号・住所・氏名・年齢・職業・電話番号③「暖だより」の感想を記入。  
応募先/島根県社会福祉協議会(右記住所)  
「暖だより」プレゼント係  
締め切り/2月7日(金)必着  
当選発表/当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。  
※お預かりした個人情報(プレゼント当選時の商品発送業務)のみ使用させていただきます。

### 社会福祉法人 島根県社会福祉協議会

〒690-0011 松江市東津田町1741-3 いきいきプラザ島根5階  
TEL 0852-32-5970 / FAX 0852-32-5973 E-mail shakyo@fukushi-shimane.or.jp

ホームページ <https://www.fukushi-shimane.or.jp/> 島根県社協 検索  
facebook <https://www.facebook.com/shimaneshakyo>

